

神吉町

かみ よし ちよう

▶旧町名由来案内板（東上野5-20）



この地は明治二年（一八六九）、江戸時代の幡随院門前町を改め、浅草神吉町として起立した。

幡随院門前町の起立年代は明確ではないが、幡随院がこの地に移されたのが万治二年（二六五九）であるから、これ以降と考えられる。

明治五年（一八七二）四月に本莊藩邸と武家屋敷地を合わせ町域を広げた。その後、同十一年（一八七八）、十五区制の制定に基き浅草区に属した。

昭和十七年（一九四二）、区境の変更にもない下谷区に一部が編入されたあと、同二十二年（一九四七）、台東区発足によって単に神吉町と称した。

この町名の由来はわからないが、同じころ隣に下谷稲荷町が起立したことを考えると、神仏のご加護を願うとともに吉という縁起のいい字を付けたのであろう。

講談や芝居で有名な幡随院長兵衛（本名は塚本伊太郎）が、この地に住んでいた。後に花川戸に移ったが、幡随院という通り名はそのまま用いられた。

現在は、東上野四、五丁目になっている。